

(第2号様式)

美工第 2615 号
令和7年3月24日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立美里工業高等学校
校長 下野 智昭
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしのことについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月18日(木) 16:10～17:00	場所	美里工業高等学校 管理棟2F 大会議室	出席 状況	校長、教頭(1)、事務長、進路指導部主任、生徒支援部導主任、環境保健部主任、養護教諭、学年部主任(2)、学科長(4)、学校評議員(4)、 計17名
第2回	日時	令和6年12月25日(水) 16:10～17:00	場所	美里工業高等学校 管理棟2F 大会議室	出席 状況	校長、教頭(2)、事務長、教務部主任、進路指導部主任、生徒支援部主任、環境保健部主任、養護教諭、学年部主任(1)、学科長(5)、学校評議員(4)、 計19名
第3回	日時	令和7年3月19日(水) 16:00～17:00	場所	美里工業高等学校 管理棟2F 大会議室	出席 状況	校長、教頭(2)、事務長、教務部主任、進路指導部主任、生徒支援部導主任、環境保健部主任、養護教諭、学年部主任(1)、学科長(4)、学校評議員(2)、 計15名

2 学校評議員に求めた事項

①学校経営方針についての意見 ②進路、生徒支援(指導)についての意見 ③生徒の学習状況、課外活動についての意見 ④各学期の反省事項に対する意見 ⑤その他、本校教育活動等についての意見

3 学校評議員の意見

①保健室を頻回利用する生徒が増えている。保健室の目的を生徒に理解させて正しい利用方法を周知すべきである。教育相談やSCカウンセラーとの連携を図る必要がある。 ②退学者が増えているが、どのような理由で退学しているか。怠学・進路変更・遊び型非行なのか。心因性によるものか生徒の状況に応じた生徒対応と定期的な保護者・生徒の連絡・連携を図る必要がある。 ③深夜徘徊を繰り返す生徒がいる。学校だけの指導では限界があるので地域やPTAを含めた対策会議等を実施して協力体制を確立する必要がある。 ④深夜徘徊は以前と比較してだいぶ減少しているが、遅刻する生徒が増加している。遅刻の原因を分析して、対応策を講じる必要がある。 ⑤防災・災害(訓練も含め)等に対しても地域と連携は図れないか。又、避難時に備えての備蓄等(水や食料)は、今後、検討すべきことである。。

4 学校運営に反映した事項

①学校での働き方改革が推進される中で、地域、保護者との協力体制も変化している。これまで通りに学校の諸活動や行事に協力・参加するためお互い理解をさらに深め連携することの必要性を図る。 ②キャリア教育の充実を図る取組や資格・検定等の取得等、全体として積極的に取り組み、生徒の進路実現に繋がっている。 ③いじめ防止対策基本法の見直しを図り、生活指導部を中心としたいじめ未然防止と校内体制を確立し、外部関係機関との連携を図った。
--

5 課題その他

①パソコン(施設)の導入がまだ十分でないとの報告があった。予算的(数百万円規模)に厳しい状況ではあるが今後も生徒の学習環境の整備に取り組んでいただきたい、との要望があった。 ②学校評議員にメンバーに自治会、卒業生、元PTA、学校関係者がることで地域とのコミュニケーションが図れ、学校運営に対する理解と参画、協力が得られた。今後もより一層、地域の関係機関と連携を深めていくことの協力が得られた。
